

# 第21回シミック製剤技術アカデミー/APSTJ製剤技術伝承講習会

## 経口製剤の製剤設計と製造法

1. 会 期 2017年6月15～16日、7月13～14日（各、木・金曜日）
2. 会 場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス（愛知県名古屋市東区矢田南 4-102-9）
3. 主 催 公益社団法人日本薬剤学会 製剤技術伝承委員会
4. 協 賛 シミックホールディングス株式会社

### 製剤技術伝承講習会へのご案内

#### 理論と経験に裏付けられた匠の技術と設計思想を継承し、日本の製剤技術力の更なる飛躍のために

医薬品産業を取り巻く環境の著しい変化に伴い、わが国で脈々と培われて来た製剤技術が十分に伝承されず散逸することが懸念される中、本学会では2006年に「製剤技術伝承委員会」を発足させ、長年にわたって発展してきた製剤技術の伝承に努めて参りました。今回は「経口製剤の製剤設計と製造法」をテーマに、様々な分野のエキスパートにご講演いただきます。奮ってご参加下さいますよう、宜しく願い申し上げます。

製剤技術伝承委員長 脇山尚樹

### プログラム

▼日程	▼演題	▼講師
6/15（木）AM	固形製剤設計総論 ～経口固形製剤の処方・プロセス設計～	中上博秋（日本ジェネリック）
	PM1：製剤のための微粉碎・分級、複合化を中心とした粒子設計加工技術	横山豊和（ホソカワミクロン）
	PM2：錠剤の製造における各種造粒品の特徴とポイント	加藤保富（科研製薬）
6/16（金）AM1	混合工程と打錠工程で留意すべき事項	青木 茂（エーザイ）
	AM2：固形製剤におけるコーティングプロセス	長谷川浩司（パウレック）
	PM：固形製剤における医薬品添加剤と製剤設計	丸山直亮（信越化学工業）
7/13（木）AM	経口製剤設計における原薬物性評価（仮題）	池田幸弘（武田薬品工業）
	PM1：固形製剤と包装設計	根岸宗広（武州製薬）
	PM2：異物混入と毒性に基づく洗浄後の残留基準	碓井富佐雄（武州製薬）
7/14（金）AM1	難水溶性薬物のための経口製剤化技術	川上亘作（物質・材料研究機構）
	AM2：経口放出制御製剤の設計	福田誠人（武田薬品工業）
	PM：ジェネリック製剤～付加価値を目指した製剤設計～（配合剤含む）	柳 敏宏（沢井製薬）

\*プログラムは仮題であり、予告なく変更されることがあります。

### 参加区分と参加費

【A】本学会会員／企業所属	¥120,000
【B】本学会会員／大学・病院等所属	¥80,000
【C】本学会賛助会員企業社員	¥120,000
【D】本学会非会員	¥150,000

### ◆開始時間

**注意！** 曜日により開始時刻が異なります。  
（カッコ内は午前又は午後のコマ数）  
木曜・11:00 開始(1)－午後 14:00 開始(2)  
金曜・9:00 開始(2)－午後 14:10 開始(1)

\*昼食休憩：木曜は 13:00～、金曜は 13:10～、各 1 時間

\*詳細は本学会ウェブサイト [www.apstj.jp](http://www.apstj.jp) をご参照ください。